

景観ガイドラインの一部変更について

【21回景観審議会部会】での委員意見と区の方考え方（要約）

項目	委員意見	区の方考え方
◆景観色彩ガイドライン [アクセント色]	・アクセント色の追記について、変更時期や注釈が不足していると思う。	・景観計画の改訂年月とアクセント色使用の注釈を追記します。
[板橋宿不動通り地区]	①「低層部・高層部の推奨する色彩の範囲の例」の欄は、茶色に偏っていると思う。自宅近くのセンスあるマンションは緑系でとても良くできている。 ②「屋根色の推奨する色彩の例」の欄は、ちょっと暗い色が多すぎるのではないかと思う。	①ご意見に合わせ、緑系(GY)の色を2枠交換しました。 ②屋根色の色彩の例の根拠として、コンサルが現地の現状調査を行い、それを基準に例示としてまとめています。
◆屋外広告物景観ガイドライン	・説明用の挿絵として使用している、現地広告物の写真の一枚が、外壁色がちぐはぐな状況が映り込んでおり、資料としてふさわしくない。	・商店街のゲートの写真に差し替えました。

※そのほか詳細事項等は省略いたします。

みどりのヒント集の改訂について

【第 17 回景観審議会】での委員意見と区の方考え方（要約）

項目	委員意見	区の方考え方
(仮)景観みどりの手引きに改定する場合の根幹や構成等について	<ul style="list-style-type: none"> ・誰に向けているのかがわかりにくい。 ・もっと、区民向けにわかりやすくした方が良い。 ・板橋らしさなどの言葉の定義が定められていない。 	<p>➡ご指摘の内容については、修正して次回の景観審議会部会に諮り、次回（第 18 回の景観審議会）に報告いたします。</p>
写真やイラストなどのビジュアルについて	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラスト素材などを多用して、区民にもわかりやすいものにしてはどうか。 ・植物図鑑などを用いて、樹種名とその姿がわかる資料を入れてほしい。 	<p>➡みどりのヒント集を用いて、設計者や事業者と協議を行っているが、樹種の姿などはインターネット等で調べていただくよう指導している。</p> <p>➡進めている「（仮）景観みどりの手引き」は、ヒント集の改訂版としているため、写真やイラストなどの追加使用は想定しておりません。改めて写真やイラストの掲載を行うには、無料素材の有無、著作権、植物図鑑の取り込み、撮影可能な樹木樹種の調査及び撮影時期、刊行物やホームページ掲載に対するリーガルチェック等を行うこととなり、そのための費用や調査時間が必要になるため、今回の改訂には対応することができません。また、植物図鑑等へのリンクは検討いたします。</p>

<p>(仮)景観みどりの手引きの利用方法等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般人でもわかりやすい維持管理メンテナンスを追記してほしい。 ・区民向けの小冊子を作り、役所の各窓口、緑のイベントやホームセンターで配付してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡一般区民向けとしては、専門的内容など情報量が多すぎるため、みどりと公園課と協働で、緑化推進・緑を愛でる心を育む・景観まちづくりの取組みなどにつながるように、維持管理メンテナンスなどを加えた新たな冊子の作成を検討していきます。 ➡また、冊子の利用方法も、庁内関係部署（緑化推進・自然環境保全等）と協議調整を行います。
-------------------------------	---	---

※そのほか詳細事項等は省略いたします。

【第 21 回景観審議会部会】での委員意見と区の方考え方 (要約)

※第 17 回景観審議会での意見のうち、位置づけ・構成や定義を修正した「(仮)景観みどりの手引き(案)」を説明したものへの意見

項目	委員意見	区の方考え方
(仮)景観みどりの手引きに改定する場合の根幹や構成等について	<ul style="list-style-type: none"> ・提案された手引き(案)は、構成がわかりにくい。 ・序章の書き出しが、ちぐはぐである。 ・誰に向けているのかがわかりにくい。 ・板橋らしさなどの言葉の定義が定められていない。 ・ガイドラインに格上げしてはどうか。 (新宿区、世田谷区、千代田区で出している緑のガイドライン等は参考になる) ・これでは、現在使用している「みどりのヒント集」の改訂版とは言えず、もっと検討と精査が必要だ。 ・近い将来、植栽のガイドラインを策定するのなら手引き(案)の「位置づけ」と「構成」をベースに進めるのが良い。 ・世田谷区のガイドラインのように、景観にとらわれない観点や視点も必要だ。 [第 21 回景観審議会部会のまとめ] ①(仮)景観みどりの手引き(案) は未完成部分が多く中途半端なので、他のガイドライン同等の「植栽ガイドライン」の策定を目指すべきだ。 ②それまでの期間は、現在の「みどりのヒント集」がよく出来ているので、景観形成重点地区の追加や、維持管理メンテナンスなどを適宜追記して、使用続けられれば良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡前回、報告させていただいた「(仮)景観みどりの手引き(案)」については、大幅な方向転換とさせていただき、撤回いたします。改めて、既成の他のガイドライン程度で、充実した植栽のガイドラインの策定をめざします。 ➡(仮称) 植栽のガイドラインを作成するにあたり ・写真やイラスト素材などを多用して、区民にもわかりやすいものにします。 ・植物図鑑などを用いて、樹種名とその姿がわかる資料を入れるか、植物図鑑にリンクすることを検討します。 ・一般人でもわかりやすい維持管理メンテナンスを追記します。 ・(仮称) 植栽のガイドラインから区民向けの情報等を抽出抜粋して小冊子を作り、役所の各窓口、緑のイベントやホームセンターで配付することを検討します。
植物等への指摘及び意見	<ul style="list-style-type: none"> ・内容は専門的事項多数のため省略いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡対応は上記の通りとします。

※そのほか詳細事項等は省略いたします。